



ID&Eホールディングス株式会社

プライム市場 証券コード：9161

個人投資家向け会社説明会

2024年4月20日

目次

1. ID&Eグループについて
2. 成長戦略
3. 株主還元
4. まとめ

目次

1. ID&Eグループについて

2. 成長戦略

3. 株主還元

4. まとめ

2023年7月、日本工営グループは持株会社体制（ID&Eグループ）へ移行。



プライム市場 証券コード：9161

ID&Eホールディングス株式会社

Integrated Design & Engineering Holdings Co., Ltd.

経営理念

誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

社名に込めた思い

- 英文表記の社名の頭文字

Integrated **D**esign & **E**ngineering

様々な分野を統合
(Integrated)、ワン
ストップで事業を推進

“土木×建築×エネルギー”を包含する
総合建設コンサルタント&エンジニアリング企業
としての当社グループの事業を象徴

ロゴに込めた思い



- 「D」と「E」の図形（群青色）を融合、様々な分野が統合され、新たな価値が加わるイメージ（金色）を表現
- 余白は、多様な人財が様々な分野間でイノベーションを起こすオープンで風通しの良い自由な環境を表現

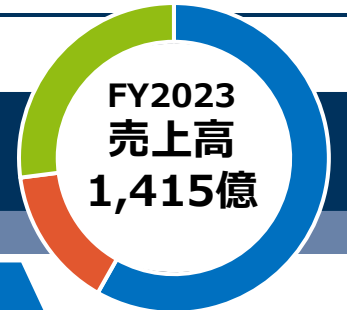
創業者 久保田 豊 (1890~1986)

- 戦前は朝鮮半島で当時最大級の電源開発（水豊ダム/700MW）に従事。
- 戦後、日本の復興および海外の戦時被災国復興を目指して56歳で会社を設立。
- 計画を成就するために全身全霊を集中させること、それが「誠意」であり、「誠意をもってことにあたれば必ず途（みち）は拓ひらける」と、久保田は説き、それが現在の経営理念に結びついている。こうした情熱が実を結び、1954年、海外進出第1号となるビルマ(現ミャンマー)での発電計画の受注に結びついた。
- 海外技術協力の父と呼ばれ、1985年には、勲一等旭日大綬章。
- 90歳まで世界各地のプロジェクトを指揮し、開発途上国の発展に貢献。



昭和天皇より勲一等旭日大綬章を親授される久保田豊

ID&Eグループの成長の歴史 – 時代のニーズに応じた事業展開



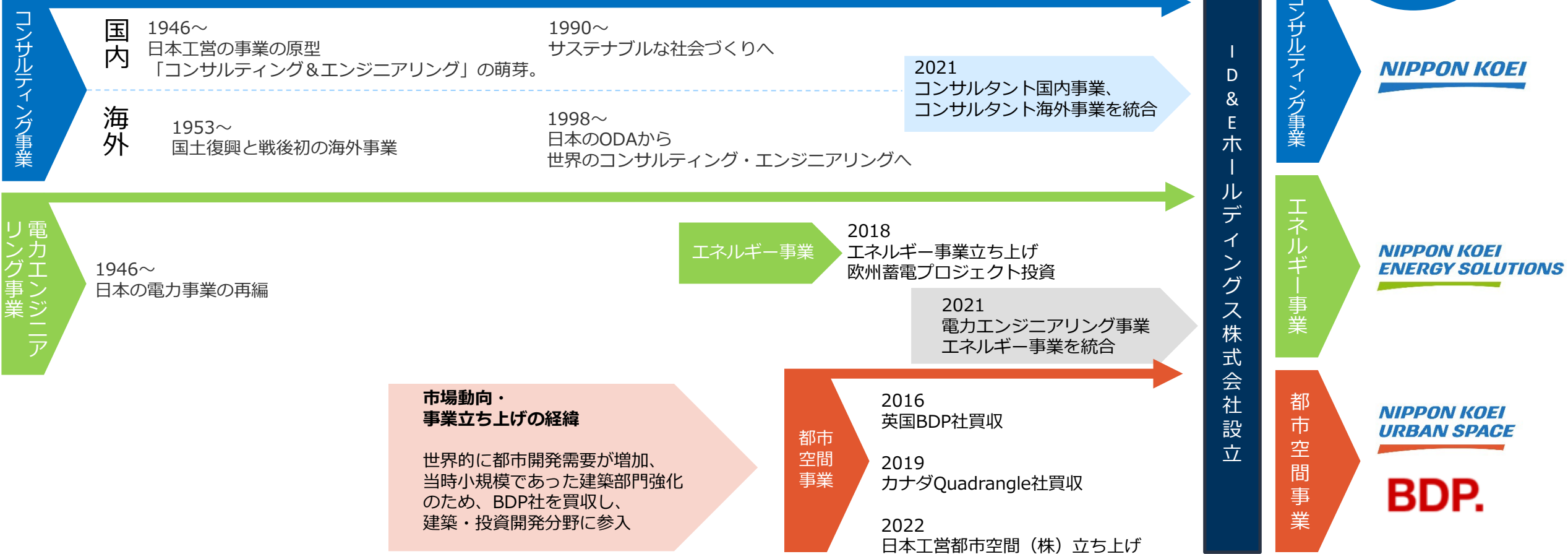
1946-1970 創業期
戦後復興

1970-1990 発展期
高度経済成長・人口増加

1990-2010 成熟期
バブル崩壊・地球温暖化

2010- 革新期
サステナビリティとレジリエンス

2023年7月



70年以上にわたり社会基盤整備に携わり、世界で国づくり・人づくりに寄与

グループ従業員数



日本国内売上



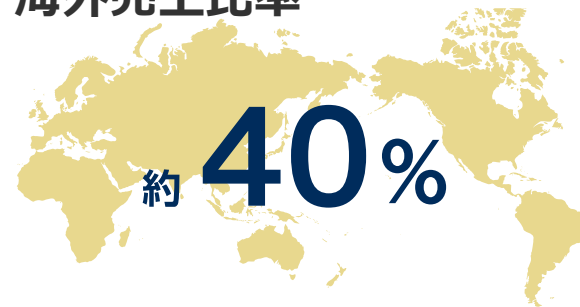
年間プロジェクト件数



海外実績



海外売上比率



グループ会社数



事業分野はコンサルティング・電力を基本に、近年は都市・エネルギーへ拡大

コンサルティング



主な顧客

国、地方自治体、JICA、
海外政府機関

- インフラの計画・調査・設計
- インフラの長寿命化・維持管理のコンサルティング
- 防災・減災の技術コンサルティング

都市空間



主な顧客

国、地方自治体、民間企業

- 地域開発調査、都市・地方計画の立案支援
- 建築設計、歴史的建造物の改修

エネルギー



主な顧客

電力会社、地方自治体、
民間企業

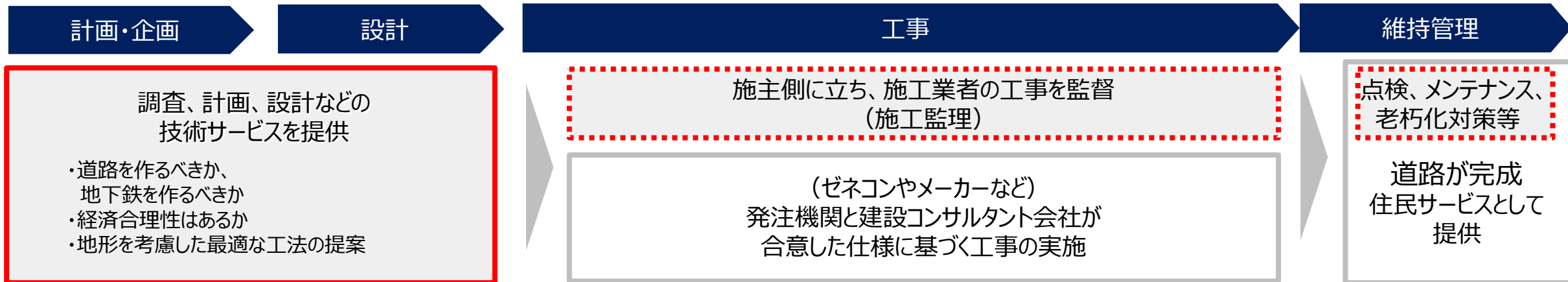
- 水力発電所・変電所の機器製造・工事
- 電力・電気設備のコンサルティング
- エネルギーマネジメント事業
- 水力発電所運営

国内：主に設計段階まで携わる。主要顧客は、国土交通省などの一次官庁、都道府県、市町村などの二次官庁。

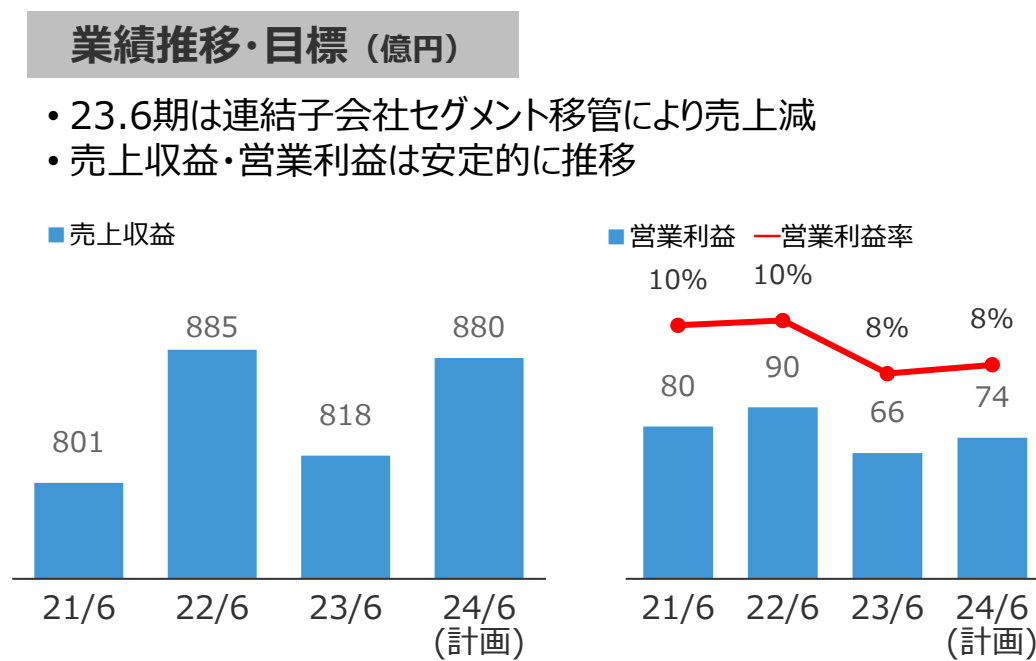
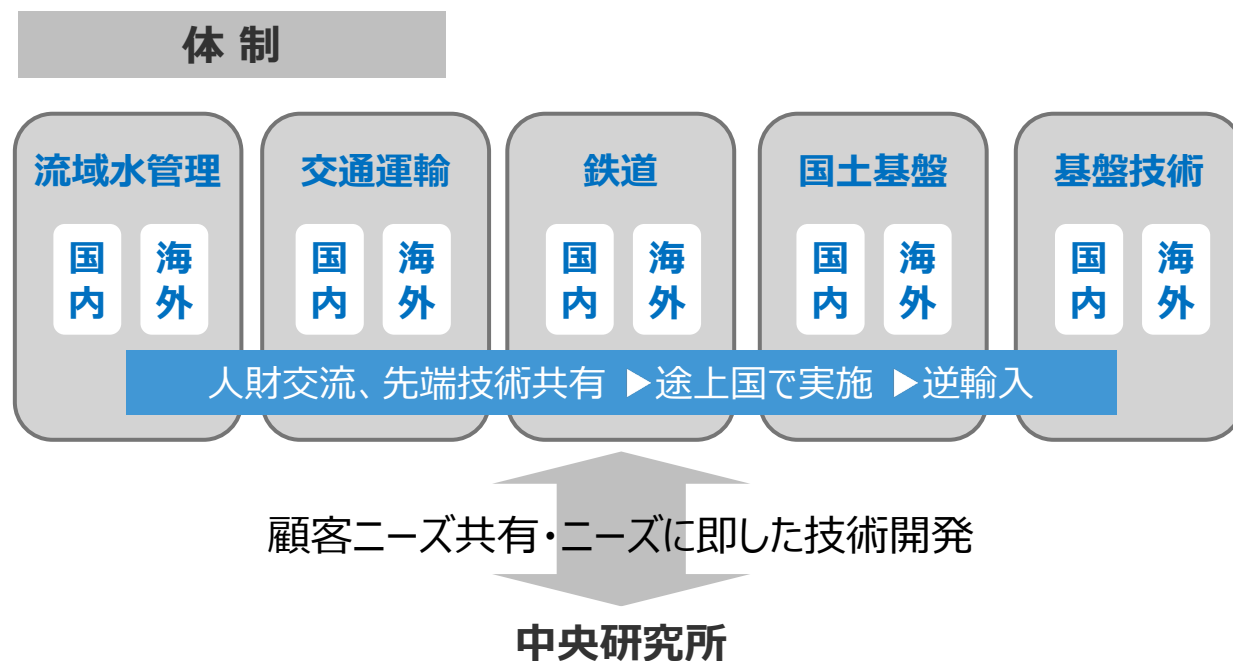
海外：案件により企画から工事の際の施工監理まで携わる。主要顧客は、国際協力機構（JICA）、相手国政府、国連・世界銀行など。



例) A地域での慢性的な渋滞問題



事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内は防衛基盤事業と民間事業の拡大、海外は現地法人を中心とした地域経営の確立 ● 攻めと守りによる事業運営を行い、卓越した技術と品質をグローバル市場に提供
市場環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国土強靱化5カ年対策等、2023年度公共事業予算は約8.3兆円 ■ 2024年度防衛予算は7.9兆円と、前年比17%増。23～27年度の防衛費は43兆円。 ■ 日本政府「インフラ海外展開戦略2025」方針発表、2025年34兆円のインフラ受注を目指す

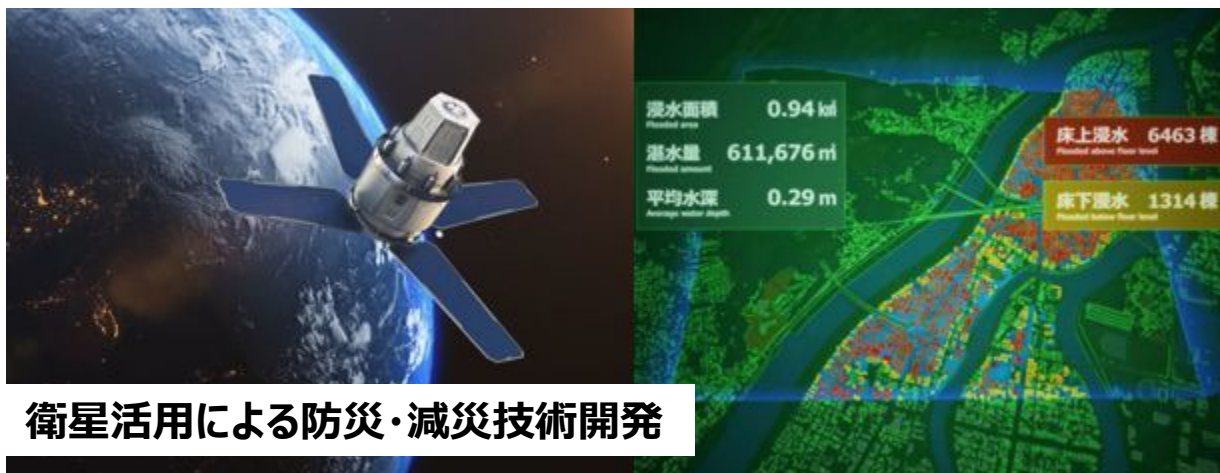




ハツ場ダム関連業務 (群馬県)



震災復興支援事業 (能登半島)



衛星活用による防災・減災技術開発



自動運転実証事業



ダッカMRT6号線 (バングラデシュ)



ラックフェン国際港 (ベトナム)



震災復興支援 (トルコ)



新タケタ橋 (ミャンマー)

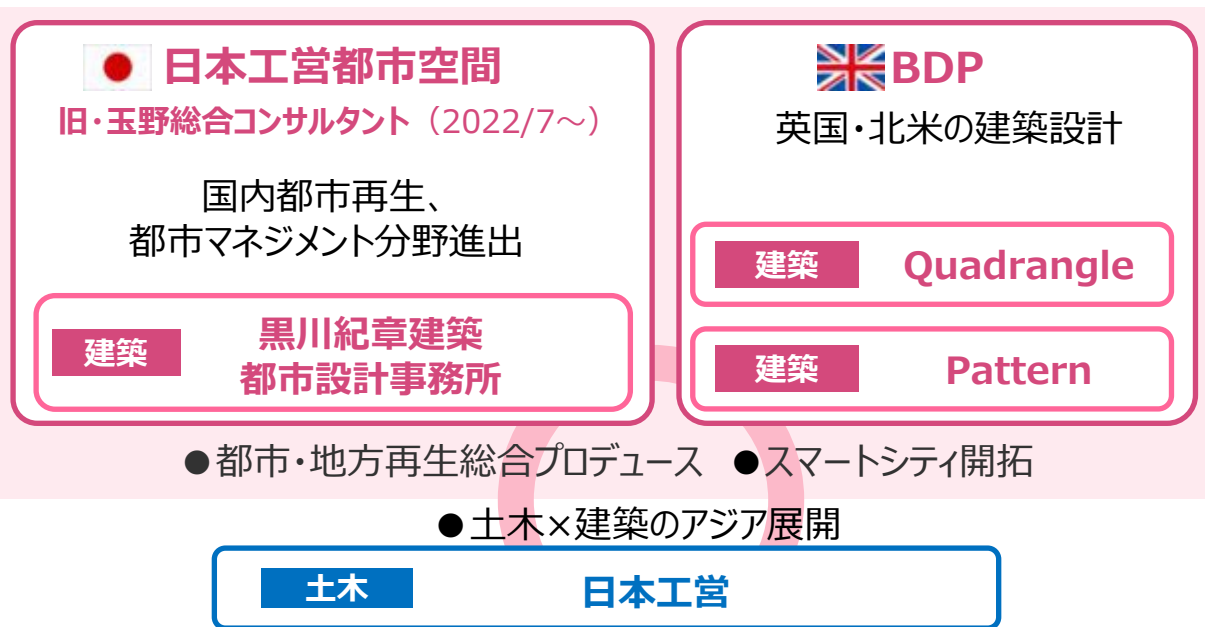
事業の方向性

- 国内外での都市・地方再生の総合プロデュース展開
- グループ一体運営での新市場開拓（市街地開発、スマートシティ等）

市場環境

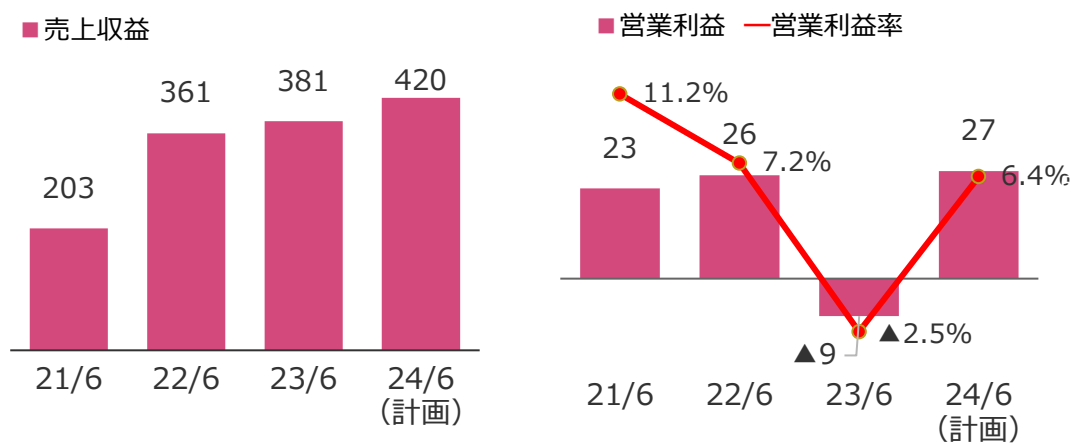
- 日本市場は公共・民間保有の大量のストック（建築物）改良や活用・再生市場、ならびにスマートシティやエリアマネジメント市場が拡大
- 国際市場は都市の人口集中により、交通関連施設整備や付帯する周辺整備の市場が拡大

体制



業績推移・目標（億円）

- 23.6期は連結子会社セグメント移管により売上収益増
- BDP社ののれんの減損が、23.6期に発生





ウエストミンスター宮殿 (英国)



Education city スタジアム (カタール)



明治公園Park-PFI事業 (東京都)



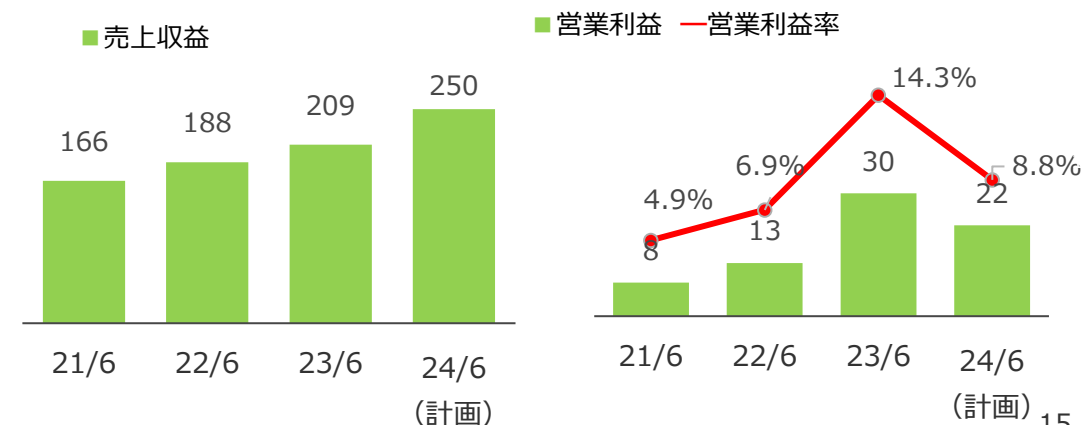
OHGISHIMA2050 (神奈川県)

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上は製造と建設分野が7割を占める ● 再エネ増加を見据え欧州で蓄電事業を実施。ノウハウを活かし日本・アジアへの事業拡大を図る。
市場環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界的に再生可能エネルギー市場拡大 ■ 日本国内では2050年カーボンニュートラル目標により、再エネ主力電源化・水素活用検討、送配電網の増強・運用改善、電力取引市場の拡大 ■ 電力安定供給に必要な既設設備老朽化更新の計画的実施

分野	事業部	事業内容
建設	電力インフラ	・ 電力会社の変電所・開閉所・発電所等施設の増強・改修
コンサルティング	機電・情報インフラ	・ 電力・電気設備に関するコンサルティング
エネルギー	エネルギーマネジメント	・ エネルギーリソースの開発・運営
	エネルギー運営	・ 水力発電所の運営、アグリゲーション、省エネ支援
製造	システム	・ 変電所集中監視システムやダム管理システムの構築
	機電	・ 水力発電の水車・発電機の製造 ・ 変電制御機器や冷却塔等の各種変電機器の製造

業績推移・目標 (億円)

- ・ 売上と利益を出せる体制に着実に成長
- ・ 営業利益は23.6期に水力発電事業投資リターン (約19億円) あり



複合技術を持つ強みを活かし計画～運用ニーズに応じていく。



製造工場 (福島県須賀川市)



大規模蓄電プロジェクト (英国・ベルギー)



秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化 (秋田県)



美和発電所 (長野県)

目次

1. ID&Eグループについて
- 2. 成長戦略**
3. 株主還元
4. まとめ

ID&Eグローバル戦略2030 － 共創。限界なき未来に挑む －

基本方針

知の探究、技術の革新と統合により、新たな価値を提供し、持続可能な社会を実現する

2030年6月期
数値目標
(IFRS)

売上収益
2,500億円

営業利益
250億円

営業利益率
10%

ROE
15%

共創施策 1 事業区分の再編、 ワンストップサービスの構築

- 3つの事業領域の新展開
- ワンストップサービスの実現と機動的な事業運営
- 事業マネジメント分野への本格展開

共創施策 2 自律と連携の促進

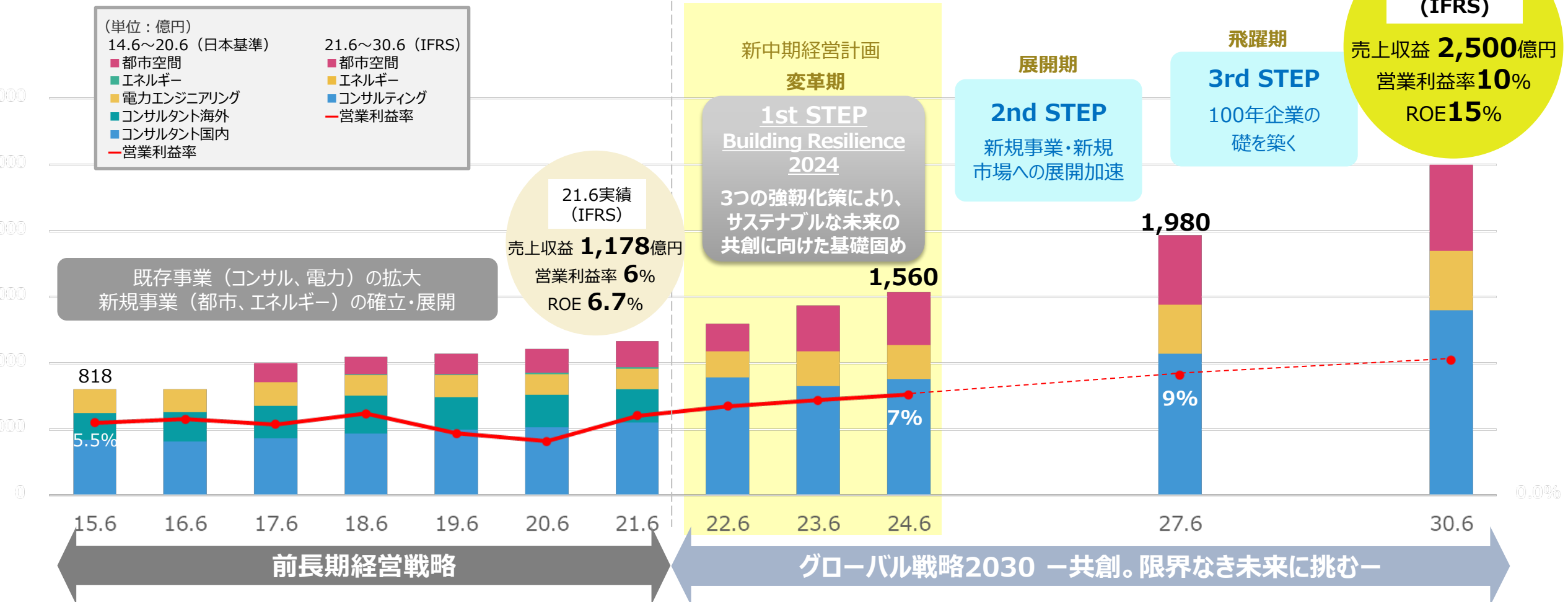
- 自律と連携、意思決定の迅速化、多様性の共存のため純粋持株会社へ移行
- 事業と地域を両軸としたマトリクス経営の実施

共創施策 3 ID&Eブランド、 ID&Eクオリティの体現

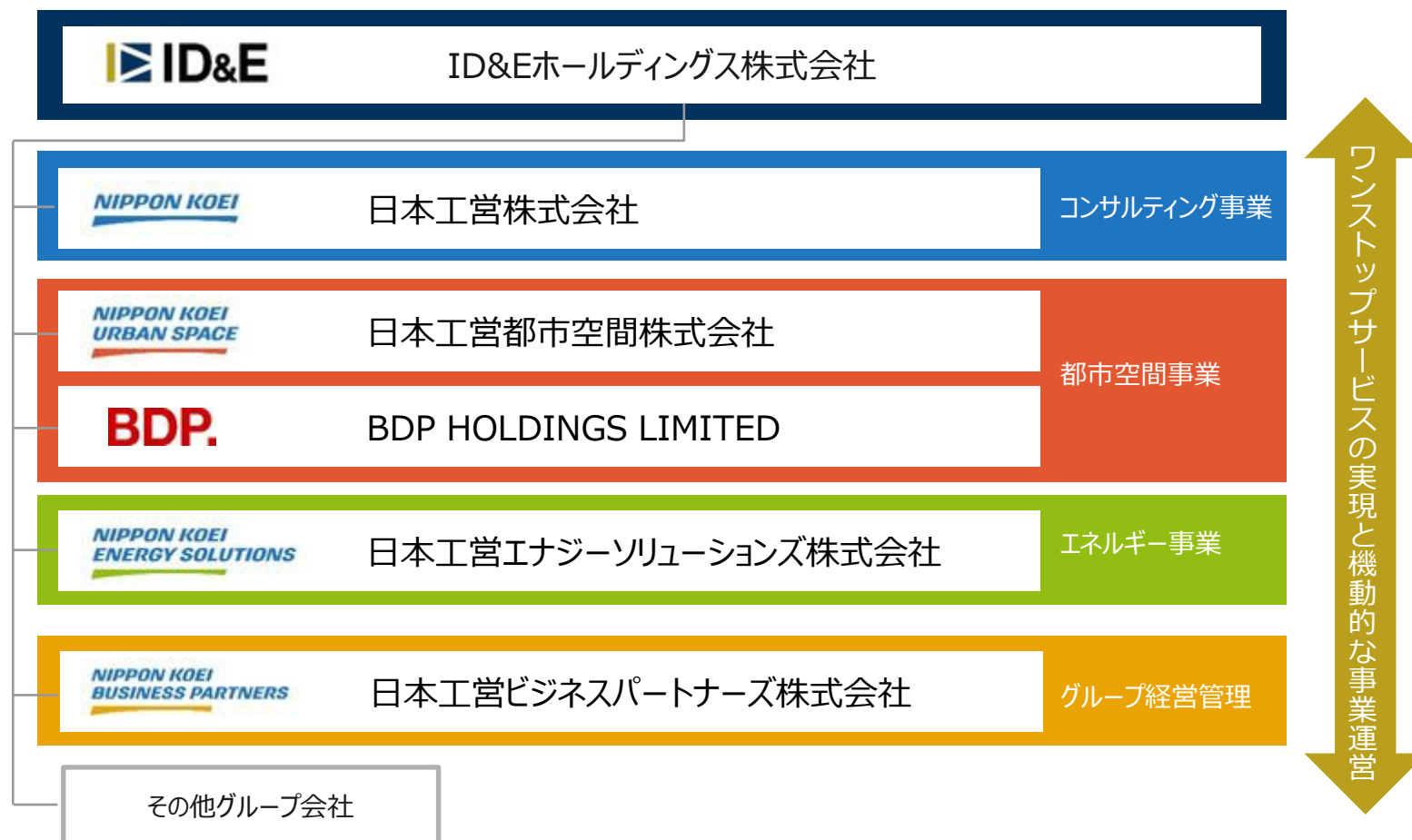
- 技術戦略と連携した世界トップクラスの人財育成
- デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現化

成長戦略 – 2030年度に目指す姿

社内外の多様なパートナーとの共創を通じ、知の探求、技術の革新と統合により新たな価値を提供し、人々が豊かさを実感できる社会の実現に貢献する企業グループを目指します。



「コンサルティング」「都市空間」「エネルギー」の3事業を基幹事業と位置づけ、各組織体がそれぞれの特徴を活かし、様々な変化や要求に迅速に対応できる組織へ進化。

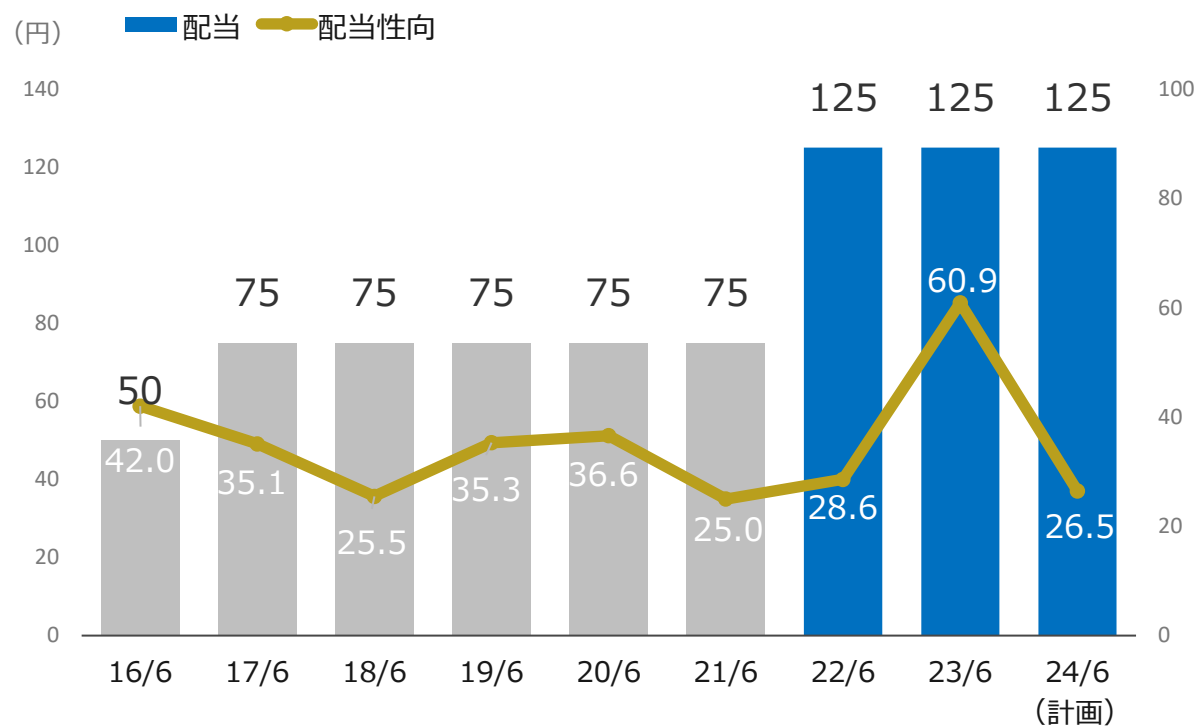


目次

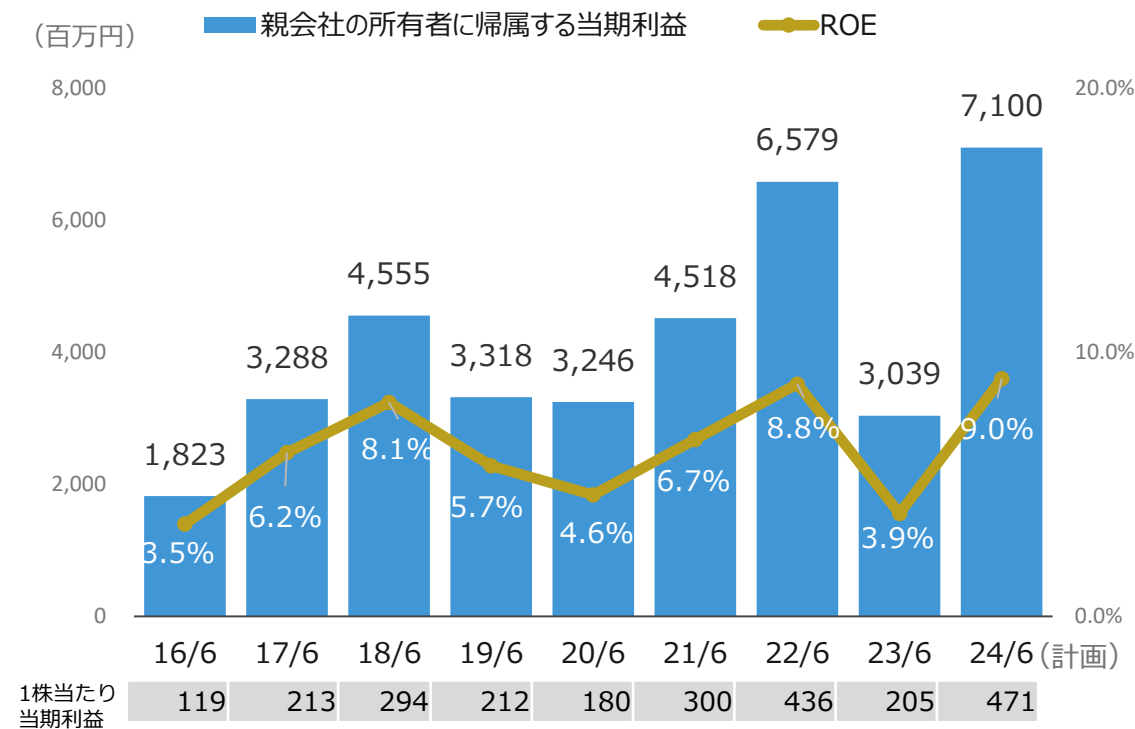
1. ID&Eグループについて
2. 成長戦略
- 3. 株主還元**
4. まとめ

- 安定的な配当と利益水準に応じた株主還元の充実を継続
- 自己株買い/消却は状況に応じて実施

配当と配当性向の推移



親会社の所有者に帰属する当期純利益とROE



目次

1. ID&Eグループについて
2. 成長戦略
3. 株主還元
4. **まとめ**

社会基盤の整備を事業として、総合力で事業拡大と収益性の向上を実現する。

— 世界中の人々の安全・安心を支える国内No.1の建設コンサルタント —

事業内容

- 国内外でコンサルタント事業・都市空間事業・エネルギー事業を展開
- 総合力で、社会課題に対しソリューションを提供

強み

- 公共案件で重視される、国内最大手としての豊富な実績
- 長年にわたる海外での業務経験
- 業界最大級の技術力・技術士数

安定性

- 自己資本比率41.4%（2023年6月時点）
- 格付け投資情報センター（R&I）格付 BBB+（2020年11月より維持）
- 特定の事業・地域に依存せず、バランスよく収益を獲得する

株主還元

- 安定的な配当と利益水準に応じた株主還元の充実を継続
- 自己株買い/消却は状況に応じて実施

ご登録いただくと、当社ウェブサイトに掲載されるニュースを公表と同時に自動でメール受信できます。
携帯・PCアドレスの登録が可能です。
お手持ちの携帯やタブレットなどで下記のQRコードを読み取っていただくか、当社ウェブサイトの「IR
メール配信サービス」ページからご登録ください。

▼IRメール配信サービス

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/mail/>



▼当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/>





IRに関するお問い合わせ

ID&Eホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5276-2454 MAIL:c-com@n-koei.co.jp

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なることが起こりえます。